

(協働版)

※(協働版)とは...

プロフィールを作成した27箇所の歴史的資産周辺において、地域のみなさまとの協働による景観づくりを進めるため、ヒアリングやまち歩きなどの取組を通じ、その地域固有の歴史的資産の特徴、まちの成り立ち、歴史、文化等といった地域ならではの情報や地域のみなさまの思いなどの情報を取りまとめたものです。

教業学区

1 神泉苑と歴史的資産

神泉苑

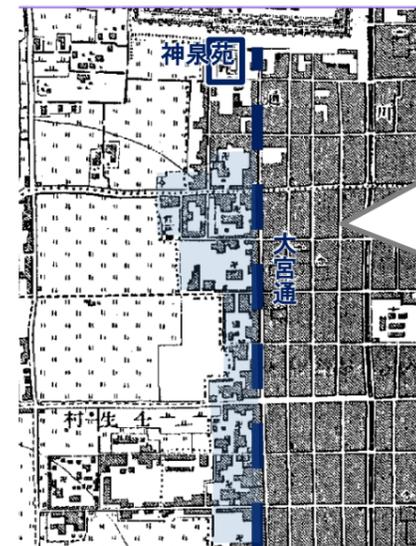
- 1 現在の教業学区の西側半分くらいの面積を占めていた。
- 2 教業学区では、歴史的な建造物も、お祭りなど地域の伝統・文化も神泉苑に関わるものが多く、神泉苑との関係が深い地域と言える。
- 3 広さは現在では当初の十数分の一ほどになったが、桓武天皇以来歴代天皇の行幸遊宴の地とし、また平安中期以降は御霊会や請雨法などの霊場として信仰を集め、苑内の法成就池の中央には善女竜王を祀る。1-1)

凡例：
 まち歩きやヒアリングによる情報等
 文献等による情報

【周辺の特徴】
 ・天正14年(1586年)に豊臣秀吉が聚楽第を築き市町を開くや「岩上」「猪熊」「黒門」「神泉苑」「姉小路」「御池」等の街路を拓いた。その時より現在の地形をなすようになった。
 ・平安建都時すでに「教業坊」が設置され、「教業」の名は誕生していた、歴史あるエリアである。

周辺の歴史的資産

- 2 大宮通の寺社の集積
室町時代に、京都の市街地の発展は、ほぼ大宮通以東に固まってきており、教業学区は市街の最西端という場所に位置する。神泉苑通周辺には寺院に適する広い敷地があり、寺院が集積した。教業学区にも、大宮通の以西に、来迎寺や三寶寺等の浄土宗の寺院が連続している。1-10)



大宮通以東では、明治25年以前から既に集落が形成されていた。このためか、大宮通以東では、現在も、住所に「上ル」「下ル」が付いている。

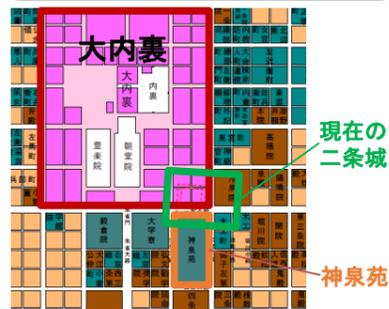


明治中期の地図 画像：立命館大学アート・リサーチセンター

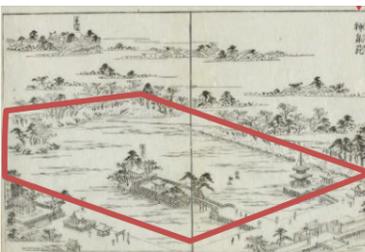
平安期の神泉苑(東西二町、南北四町)



大正時代の地図上に、平安期の神泉苑の池の範囲(水色)を記載したもの。



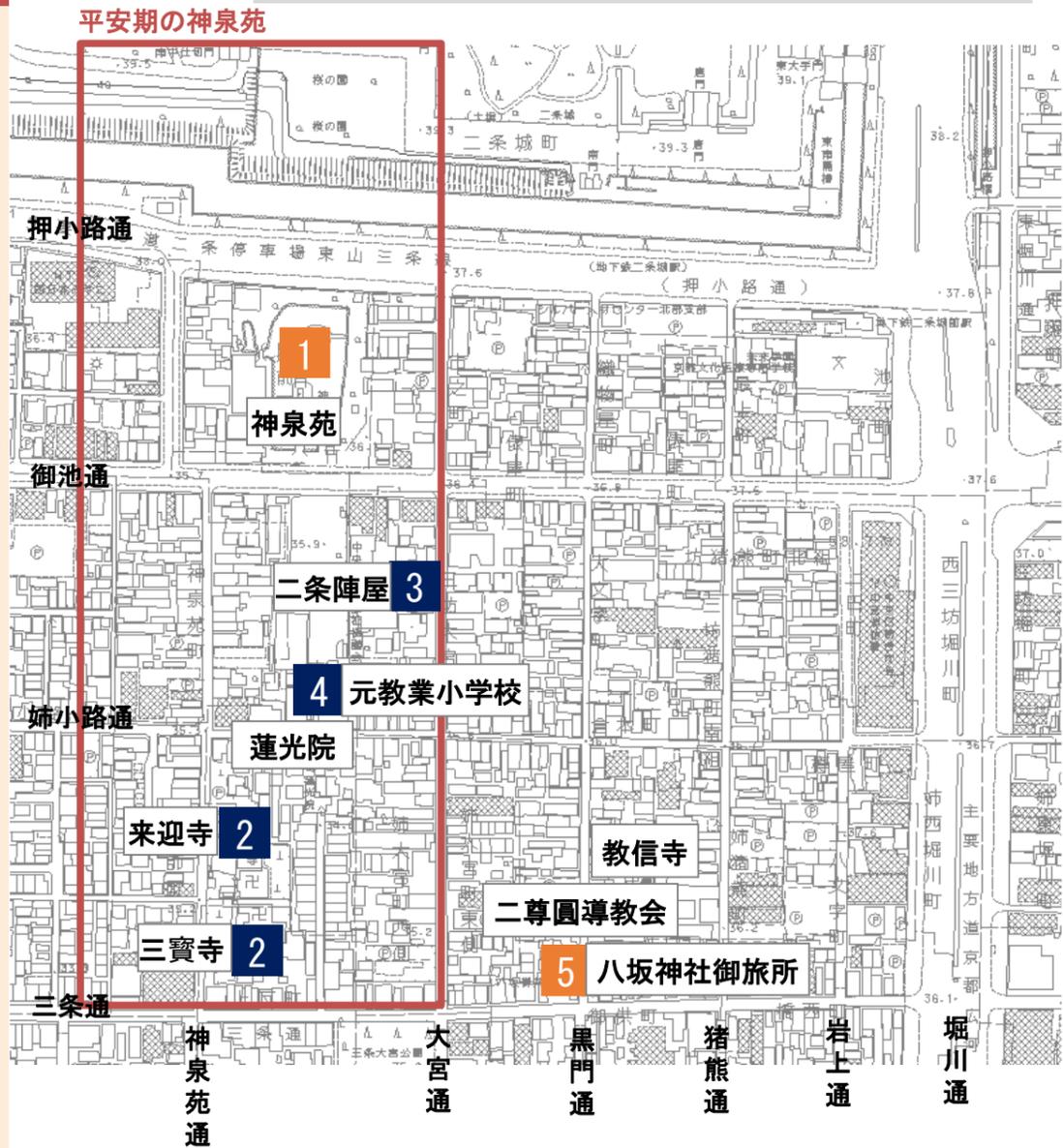
大正時代の地図(教業資料室)



都名所図会「神泉苑」(国際日本文化研究センター所蔵)

神泉苑は創建当初は平安京の大内裏の南東隣りに位置し、八町の規模を有する苑池であり、禁苑であった。1-2)

神泉苑の池は、現在より、大きかったことがうかがえる。1-3)



- 3 二条陣屋
江戸時代、神泉苑通より西側は武家屋敷街であり東町奉行所・東町奉行所組屋敷・京都代官屋敷・各諸藩邸などがあつた。二条陣屋は江戸後期の大名の宿舎で防御建築。1-11)



- 4 元教業小学校
平安京創設当時の名前をつけた学校は市内にはいくつかあるが、その場所で当時の名前を付けているのは、教業だけである。1-12)



学区内交流の場としても継承されている。

築地塀は鉄筋コンクリート造で、京都一立派なものである。



築地塀
塀の屋根瓦は「三条神泉苑」で先年下水工事の際に発掘された軒丸瓦。平安時代の『苑』の字が使用されている。1-4)

神泉苑が今のように見違えるようになったのは、史跡復興保存会が出来てからである。



2018年9月の台風で甚大な被害を受けたが、翌年2月に御新調された。



恵方社
歳徳神を礼拝する。毎年大晦日の晩に恵方に祠の向きを変える点が他の神社仏閣と異なる。毎年向きを変える「歳徳神」は、日本国内で唯一ここだけに見られる祀り方であると伝えられる。1-5)



五位鷺(ごいさぎ)
鷺は「五位鷺」と呼ばれ、謡曲にも謡われている。1-6)



神泉苑のお花見
嵯峨天皇が「観桜会」を催されたことから、日本で初めてお花見が行われた地と伝わる。1-7)



神泉苑年中行事
年中行事には、節分祭・神泉苑祭・御火焚祭がある。苑内池の東にある狂言堂では11月に大念仏狂言が演じられ、壬生狂言の流れをくむ無言劇である。1-8)



神泉苑と祇園祭：八坂神社御旅所
疫神や死者の怨霊を鎮めるために霊を祀る祭礼の御霊会。869年、流行した悪病の厄払いに現在の八坂神社の神輿をかつぎ鉾を立て、神泉苑に向かったとされるのが祇園祭の起源とされている。1-9)

■ 教業学区

2 歴史・自然 町並み等

凡例: まち歩きやヒアリングによる情報等
文献等による情報

染物業

教業学区は、近世の染物の中心地であり、そのままこの地が友禅染の中心となった。堀川水系の浅井戸の水が得やすく、また堀川で水洗いするにも便利だったことが考えられる。現在も、数軒の染物屋が営業されている。



堀川で友禅染の板を洗う様子 (昭和29年)
川の沿岸には京友禅関係の仕事をする家がたくさんあった。

堀川の水の色が朝・昼・夕と変化し、また染色業界の景気も堀川の水の色でわかるとまで言われた。

現在の堀川
近年、何度かの整備を経て、往年の堀川の面影を残しつつ、市民の憩いと潤いの場となる新しい堀川として蘇っている。

自然と歴史

樹木

二条城の周辺には、樹木等の自然が多く見られ、世界遺産である二条城と一体的な景観を見ることができる。



堀川の護岸は西側と東側では異なる。西側の石垣は、二条城築城に伴って築かれたもので、国の史跡に指定されており、東側の石垣は後から築かれたものである。護岸の上には、松や桜等の樹木が植えられている。2-1)



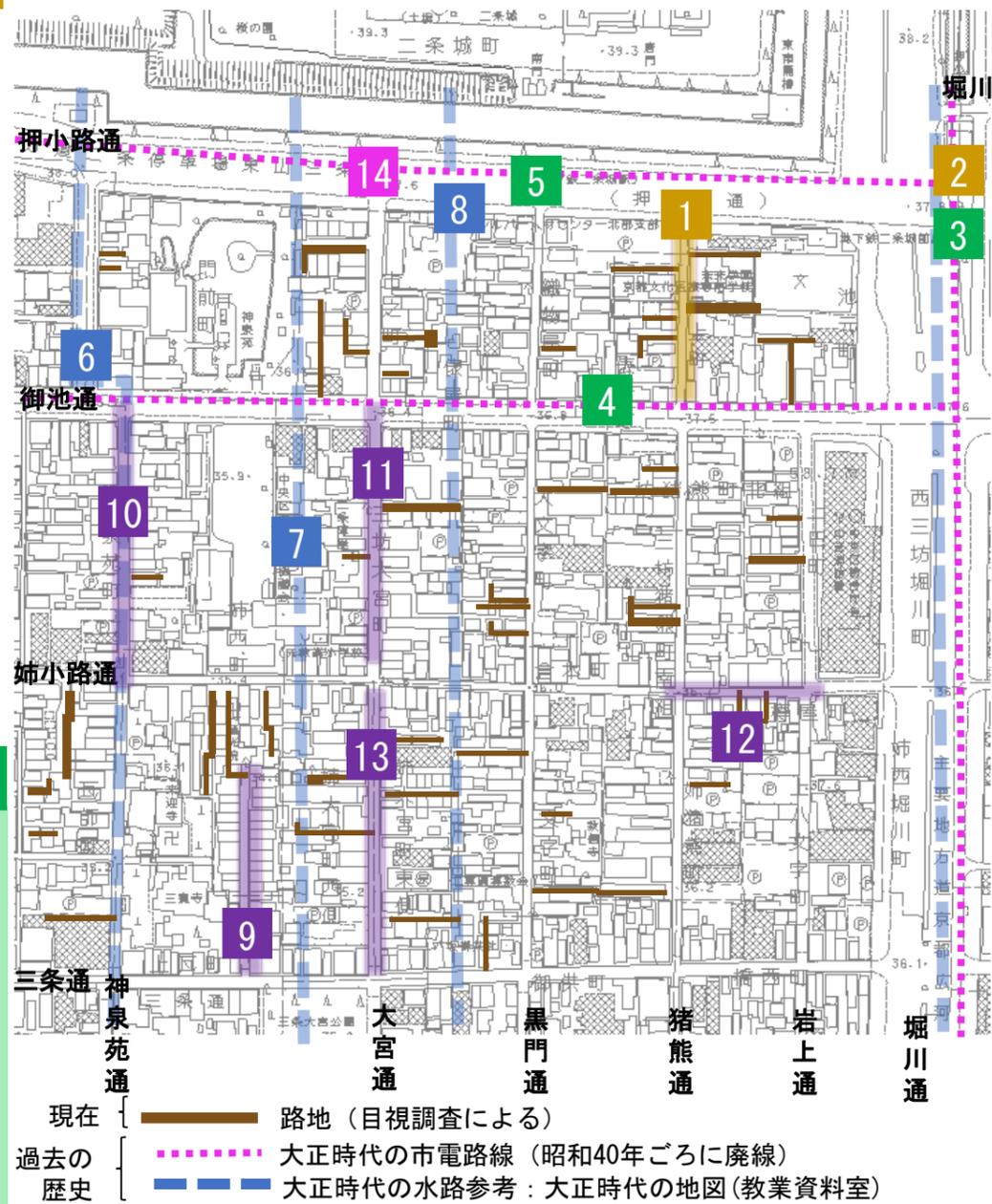
昭和10年春に堀川～二条駅間の道路舗装工事が行われ、両側にイチョウの若木が植えられた。今では大きくなり秋には銀杏も見られる。



昭和初期くらいまでは、直径30cm以上の松が行儀よく並んでいた。現在、押小路通南側はモミジバフウとなっている。

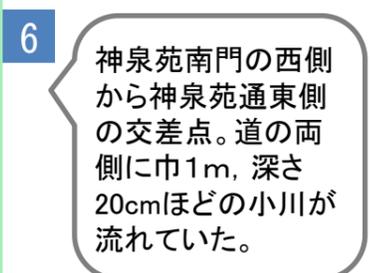
【周辺の特徴】

- ・ 中世から染物業の中心地であり、現在も営業されているところがある。
- ・ 植木等の自然が多く見られ、二条城と一体的な景観を形成している。
- ・ 木造建造物が8割近くを占めており、路地も多く見られる。
- ・ 学区の各町内には、ほぼお地藏様があり、同時に町内の1次避難集合場所でもあり、生活の中にとけこんでいる。



水路

教業学区は、神泉苑が存在し、湿地帯で水が豊富であったことから、複数の水路が存在していた。現在もその名残が、水路跡が残っている。

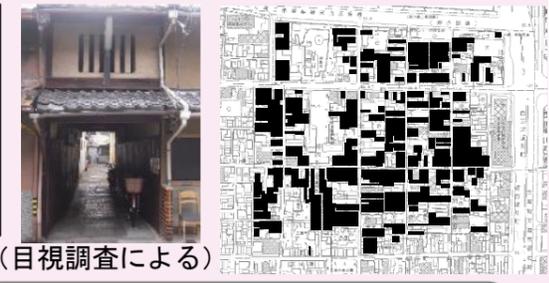


鵜(ぬえ)川
大宮通と黒門通の中を抜け錦通へとつながる。錦通から西へ壬生川、堀子川と変わる。夜な夜な現れる「ぬえ」を源頼政が退治したといういわれがある。2-2)

民家と民家の境に、今も残る鵜川跡と考えられる溝がある。

町並み

教業学区内には、木造建造物が8割近くを占めており、本2階建ての町家が多く見られる。また、路地も多く見られ、特徴的な景観である。



木造建造物 (目視調査による)

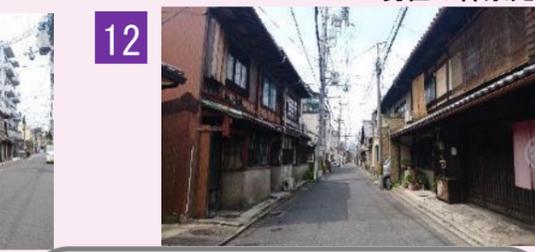


昭和小路
細い通りを挟み両側に町家が並ぶ。改修されているところもあるが、昔の風情を残している。

防災まちづくりの取組
平成30年から、学区全体で、「防災のまちづくり」の計画策定に向けた取組を進めている。



町家が建ち並ぶ。屋根の重なりが美しい。
現在も名残りのある景観が見られる。



かつての神泉苑通

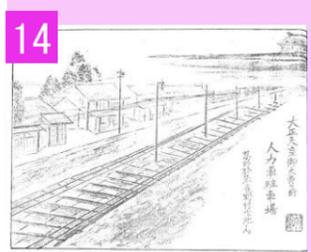
現在の神泉苑通



姉大宮町西側
この町には、16世紀後半、秀吉の時代からの民家が数軒あり、明治の初年には、京の三奇人と言われた中の一人で薬学科学に秀でた福田精齊先生が住んでおられた。前を通ると薬の匂いがしていた。

市電

大正時代には、堀川通、御池通と押小路通に市電が通っており、昭和40年頃に廃線しているが、今も、多くの人の心に残っている。



御池通大宮角より西を見る



昭和36年の写真
子供の頃見た、廃線前最後の花電車は忘れられない

1 神泉苑と歴史的資産

- 1-1 京都新聞社_京都新聞
- 1-2 神泉苑公式ホームページ
- 1-3 大正時代の地図との比較(教業資料室)
- 1-4 竹島初太郎著 町別見聞録 教業の語り部
- 1-5 平凡社 寺院寺社大辞典 1 京都・山城. 平凡社. 1994
- 1-6 神泉苑公式HP
- 1-7 神泉苑公式HP
- 1-8 神泉苑公式HP
- 1-9 はんなり中京推進会(やさしさともてなしの心育むまちづくり推進協議会)_はんなり中京マップ 二条城周辺
- 1-10 京都市編、資料 京都の歴史第9巻 中京区 平凡社 1985
- 1-11 平凡社 寺院寺社大辞典 1 京都・山城. 平凡社. 1994
- 1-12 竹島初太郎著 町別見聞録 教業の語り部

2 歴史・自然・町並み等

- 2-1 平凡社 寺院寺社大辞典 1 京都・山城. 平凡社. 1994
- 2-2 竹島初太郎著 町別見聞録 教業の語り部